LARC

ロールスクリーン ラルク

ホームタコス
傾斜窓タイプ

取扱説明書 兼 無償修理規定

このたびは、弊社製品をお買上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

販売店様へ

製品を販売店様でお取付けになられた場合は、
この取扱説明書 兼 無償修理規定はご使用になられるお客様へお渡しください。

タチカワブラインド

安全上のご注意（必ずお守りください）

この「取扱説明書」では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

●表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠	**警告**	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が想定される内容を示しています。
⚠	**注意**	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付く可能性が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⊘	してはいけない禁止の行為です。
❗	必ず実行していただく強制の行為です。

ご使用になる前にお読みください

⚠ 警告

⊘ 火のそばではご使用にならないでください。製品が溶けたり、燃えたりして危険です。

⊘ 浴室や風雨にさらされる場所など、湿気の多い場所ではご使用できません。感電、火災、故障、変形の恐れがあります。

⊘ 分解や改造をしないでください。感電や火災、けがの原因となることがあります。

⊘ 交流 100 V以外では使用しないでください。感電、火災の原因となります。

⊘ 電源コードを傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っぱる、ねじる、束ねて通電させる、高温部に近づける、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。感電、ショート、発火の原因になります。

⊘ 電源プラグをぬれた手で抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

ご使用になる前にお読みください

⚠ 警告

⊘ 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。感電、ショート、発火の原因になります。

❗ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないで必ず電源プラグを持って抜いてください。感電、ショート、発火の原因になります。

❗ 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。感電、ショート、火災の原因となります。

❗ 電源プラグの刃は定期的に乾いた布で拭いてください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

❗ お手入れの際には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

❗ 長時間ご使用にならないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

⊘ 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池、銘柄や種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれによる火災、けがや周囲を破損する原因となります。

⊘ 電池を加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液漏れによる火災、けがの原因となります。

⊘ 乾電池は充電しないでください。電池の破損、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

❗ 電池を使用する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れによる火災、けがや周囲を破損する原因となります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

ご使用になる前にお読みください

⚠ 注意

- 製品にぶら下がったり，無理に引っぱったりしないでください。また、製品にものを掛けたりして、無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下によりけがをすることがあります。
- 製品の動く範囲内に動きを妨げるものや、壊れやすいものを置かないでください。製品や置いたものが破損することがあります。
- 風の強い時には製品を降ろしたまま窓を開けないでください。製品の破損や思わぬ事故につながることがあります。
- 使い切った電池はリモコンからすぐに取外してください。使い切った電池を長い間、リモコンの中に放置すると液漏れなどを起こし、故障の原因となります。

ご使用になる前にお読みください

⚠ 警告

- 製品重量に耐えられる下地に取付けてください。

⚠ 注意

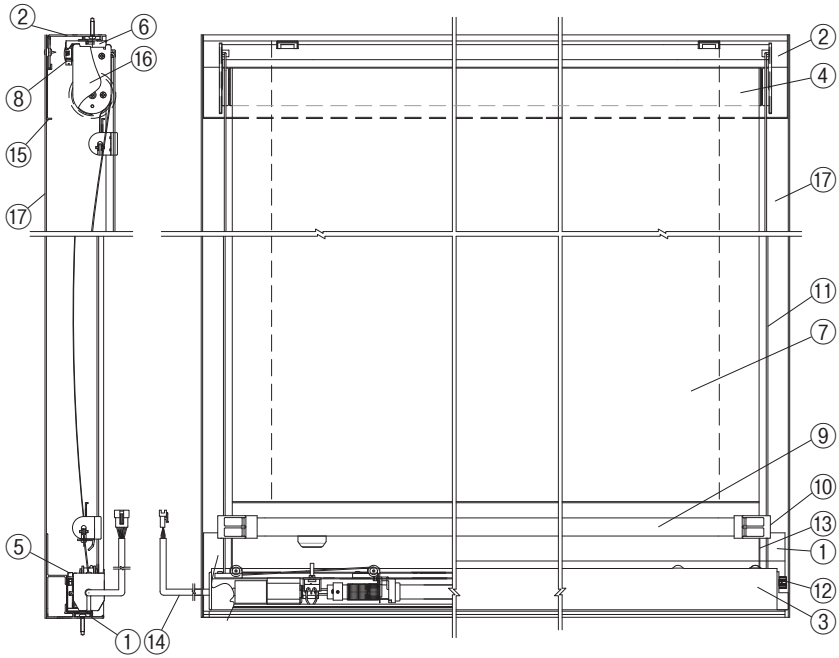
- 付属の取付けビスは木部用です。木部以外への取付けにはご使用にならないでください。木部以外への取付けは専用のビス、アンカー等をご使用ください。
- 本体取付け時には、取付けブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。

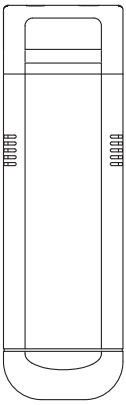
使用環境上のご注意 （必ずお守りください）

⚠ 注意

- この製品は屋内用として作られたものです。屋外ではご使用できません。
- 蒸気等の充満する浴室等ではご使用できません。サビなどの発生により製品の機能低下、または不具合発生の原因となります。
- 水気のかかる場所、結露に触れるような場所ではご使用にならないでください。生地にシミなどが発生することがあります。
- 窓を開けての直射日光を生地に当てないでください。生地が極端に退色、変色することがあります。

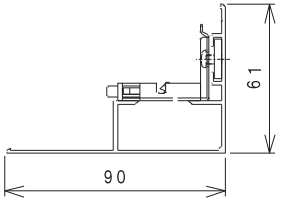
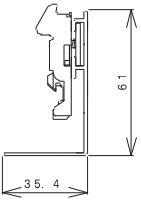
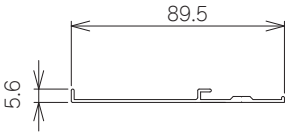
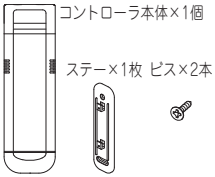
各部の名称



①ブラケットフレーム	⑩ウェイトバーキャップ	⑱コントローラ 
②RSブラケットフレーム	⑪テンションワイヤー	
③ヘッドボックス	⑫調整ダイヤル	
④ロールスクリーン本体	⑬駆動コード	
⑤ヘッドボックス取付けブラケット	⑭配線コード	
⑥ロールスクリーン取付けブラケット	⑮光漏れ防止プレート	
⑦生地	⑯サイドブラケットカバー	
⑧巻取りギヤ	⑰サイドフレーム（オプション）	
⑨ウェイトバー		

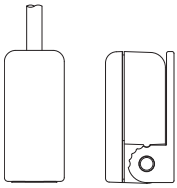
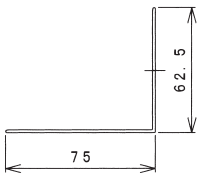
付属品 （施工する前にまず付属品をご確認ください）

本体付属品

部品名	ブラケットフレーム	RSブラケットフレーム	フレーム取付けビス
			 （4×20ナベタッピンビス）
数量	1本 ※取付けブラケットが仮付けされています。	1本 ※取付けブラケットが仮付けされています。	8本
部品名	光漏れ防止プレート	光漏れ防止プレート用固定ビス	本体側延長コードS
			 ※コード長さ＝20cm
数量	1本	2～4本	1本
部品名	ワイヤークランプ	コントローラ	電源コード
			
数量	3個	1セット	1本

巻きずれ調整用シール	1枚

オプション部品

部品名	シングルリモコン	アドレスリモコン	持出し受光部	サイドフレーム
				
付属品	単4乾電池×2本 リモコンホルダー×1個 取付けビス（木部用）×2本		取付けビス×1本 （木部用）	取付けビス×2～4本 （木部用）

製品の取付けかた（安全のため、コンセントを抜いた状態でおこなってください）

初期設定（アドレス設定）

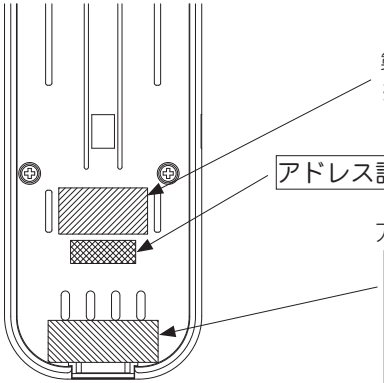
※アドレスリモコンご使用の場合のみ（シングルリモコンご使用の場合は不要です）

アドレスリモコンをご使用の場合は、製品ごとにアドレスの設定が必要となります。アドレスを設定することにより４台（または４グループ）までの製品を個別操作または一斉操作することができます。

＜設定方法＞

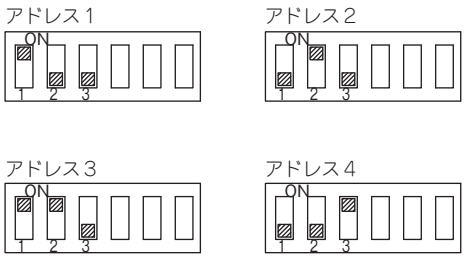
アドレス設定はコントローラ裏面にある６つのディップスイッチで設定します。アドレス設定明細シールに従い、№１～３のディップスイッチを設定してください。

注）№４～６は工場出荷時に設定済みです。アドレス設定時には動かさないでください。
製品の故障の原因となります。

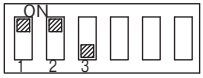


アドレス	No.1	No.2	No.3	No.4
1	On	Off	Off	本体受光部 On：使用 （通常） OFF：不使用
2	Off	On	Off	
3	On	On	Off	
4	Off	Off	On	
シングル	Off	Off	Off	

参考）アドレスごとのディップスイッチの設定
ディップスイッチ№1 ～ 3で設定します。
注）ディップスイッチ№4 ～ 6は動かさないでください。



例）ある製品を「アドレス３」として設定したい場合は、ディップスイッチ№1と２を「ON」に№3は「OFF」の状態にします。



※初期設定は必ず電源プラグをコンセントに差し込む前におこなってください。
電源投入（電源プラグをコンセントに差した）後に設定すると正常に動作しない場合があります。

製品の取付けかた（安全のため、コンセントを抜いた状態でおこなってください）

製品本体の取付け

必要な工具
・プラスドライバー　・マイナスドライバー　・巻尺（スケール）

1）製品の確認

製品の変形、破損、付属品の不足等がないことを確認してください。異常がある場合は取付けできませんので、お買い上げいただいた販売店、最寄りの弊社支店までご連絡をください。

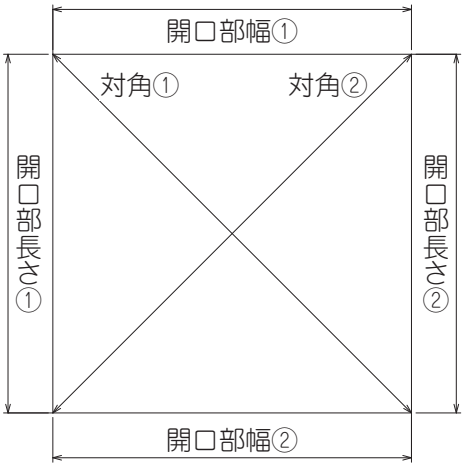
2）取付け下地の確認

・製品に付属しているビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
・木部に取付けるときは、厚さが10mm以上であることを確認してください。
・木部以外の下地に取付けるときは、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。
・製品の動く範囲内に障害物がないか確認してください。

⚠ 注意

木部以外に取付けをする場合、ブラケットフレームを取付けする前に、取付け部の下地、製品数量を確認し、それに応じたビス、アンカー等をご使用ください。取付け部が弱いとブラケットフレームごと製品が落下し、思わぬケガをすることがあります。

3）開口部のゆがみの確認



・開口部幅①＝開口部幅②
・開口部長さ①＝開口部長さ②
・対角①＝対角②
になっているかを確認します。

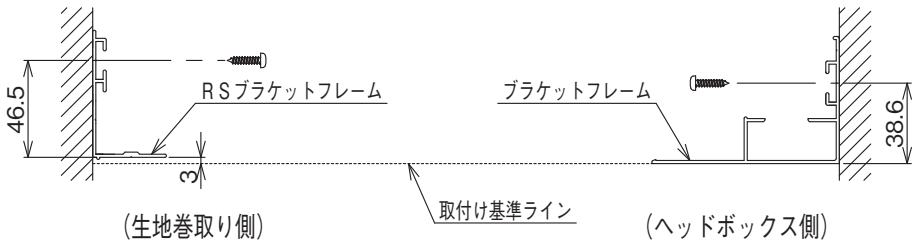
⚠ 注意

上記の寸法に3mm以上の誤差が生じる場合は、ワイヤーや生地がうまく巻取れずに故障の原因になる恐れがありますので、必ず開口のゆがみを調整してください。

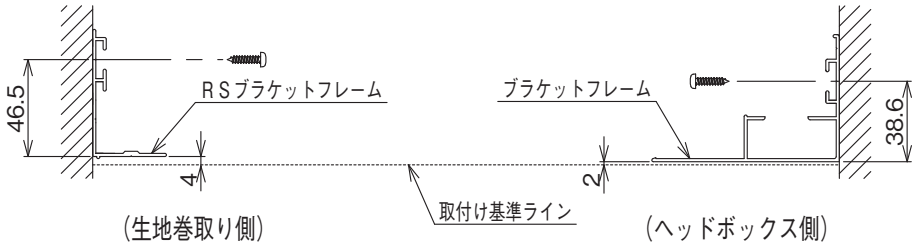
製品の取付けかた（安全のため、コンセントを抜いた状態でおこなってください）

4）ブラケットフレームの固定

●サイドフレームなしの場合



●サイドフレーム(オプション)付きの場合



①ＲＳブラケットフレームの固定

ＲＳブラケットフレームに開いている４ケ所の固定穴に付属のビスにより固定してください。

※ＲＳブラケットフレームの下に光漏れ防止プレートを取付けるため、取付け基準から３mm上方向へずらして取付けてください。

※オプションで サイドフレームを取付ける場合 は、取付け基準から4mm上方向へずらして取付けてください。

㈱光漏れ防止プレートをこの時点で取付けないでください。後で製品本体を取付けることができなくなります。

②ブラケットフレームの固定

ブラケットフレームに開いている４ケ所の固定穴に付属のビスで固定してください。

※オプションで サイドフレームを取付ける場合 は、取付け基準から2mm上方向へずらして取付けてください。

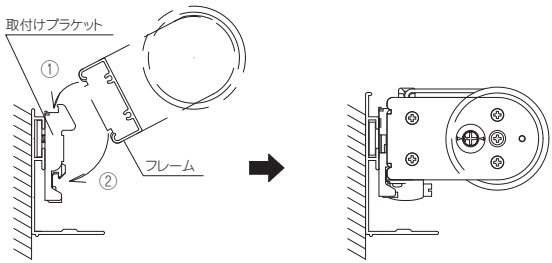
⚠ 注意

傾斜している窓に取付ける場合は、必ず高い方にRSブラケットフレーム（生地の巻取り側）がくるように取付けてください。

製品の取付けかた（安全のため、コンセントを抜いた状態でおこなってください）

5）ロールスクリーン本体の取付け

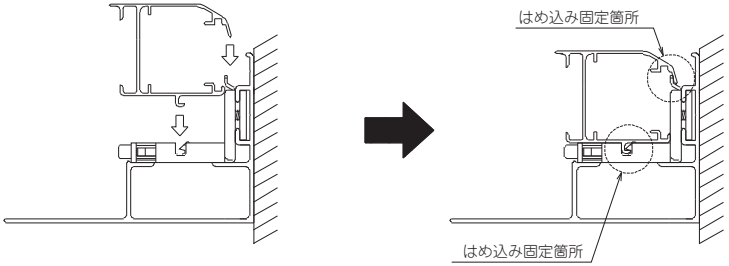
①取付けブラケット上部のツメに引掛けてください。
②フレームの下側を矢印の方向に押込んでください。
※すべての取付けブラケットに確実に固定されているかどうか必ず確認してください。



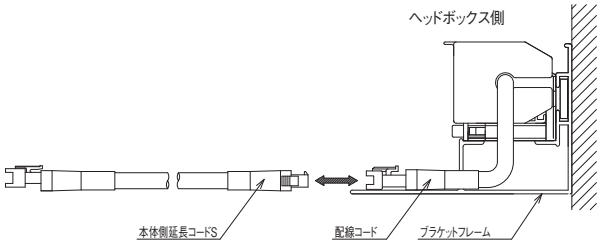
※製品を取外す場合は、取付けブラケットのスライドブロック(白色の樹脂部分)を指で押し込みながら、①～②の反対の手順で行います。

6）ヘッドボックスの取付け

取付けブラケットのはめ込み固定場所に合わせて垂直に押込んでください。

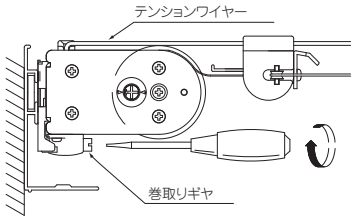


※オプションで サイドフレームを取付ける場合 は、ヘッドボックスの右側から出ている配線コードに付属の本体側延長コードSをこの時点で必ず取付けてください。



7）生地巻取り側の本体フレーム下部の巻取りギヤをマイナスドライバーで巻取り、テンションワイヤーを張ります。

ワイヤーのたるみは、下記を目安にしてください。
・製品の長さL1000mmで、2mm（ワイヤー中央部分）
・製品の長さL2000mmで、4mm（ワイヤー中央部分）



※生地の巻取り径が大きく、ドライバーが入りづらい場合は、生地を引出して(ウェイトバーを手で引く)調整をしてください。

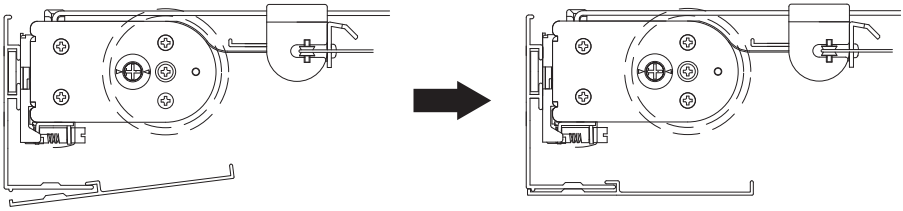
注）電動ドライバーのご使用は避けてください。巻きすぎが原因で部品を破損したり、生地に損傷を与える場合があります。

製品の取付けかた（安全のため、コンセントを抜いた状態でおこなってください）

8）光漏れ防止プレートの取付け

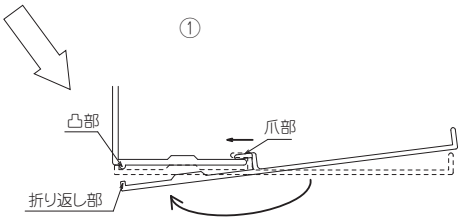
光漏れ防止プレートの設置は、必ず製品本体の取付け後におこなってください。
※光漏れ防止プレートを先に取付けた後は、製品本体を取付けることができません。

①ＲＳブラケットフレームへ光漏れ防止プレートを取付けて(はめ込む)ください。



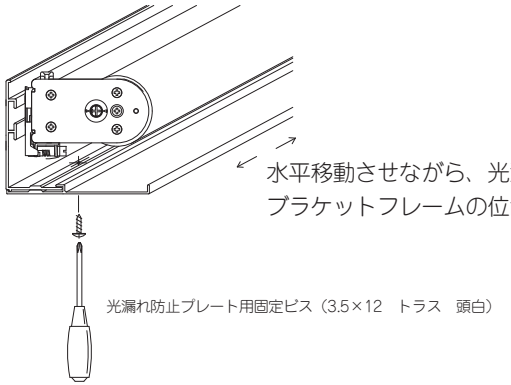
②仮設置完了

※）取付け場所が傾斜面の場合は、光漏れ防止プレートを手で押さえながらビス固定への作業を行ってください。



※光漏れ防止プレートを少し傾けて、爪部をRSブラケットフレームの先端の面に乗せ、矢印方向へ回転移動させてください。
※端部の折返し部が、RSブラケットフレームの凸部より奥側になるようにしてください。

②光漏れ防止プレートをＲＳブラケットフレームの端の位置を合わせ、光漏れ防止プレート用固定ビスで固定してください。



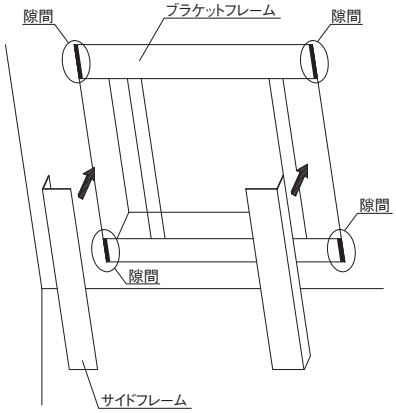
注意

落下する恐れがありますので、光漏れ防止プレートを必ず手で押えながら、ビスで固定してください。

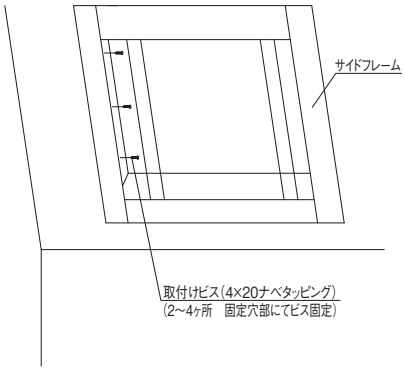
製品の取付けかた（安全のため、コンセントを抜いた状態でおこなってください）

9）サイドフレームを取付けします（オプション）

①取付け枠と上下のブラケットフレームの隙間にサイドフレームを差し込んで(入れ込んで)ください。



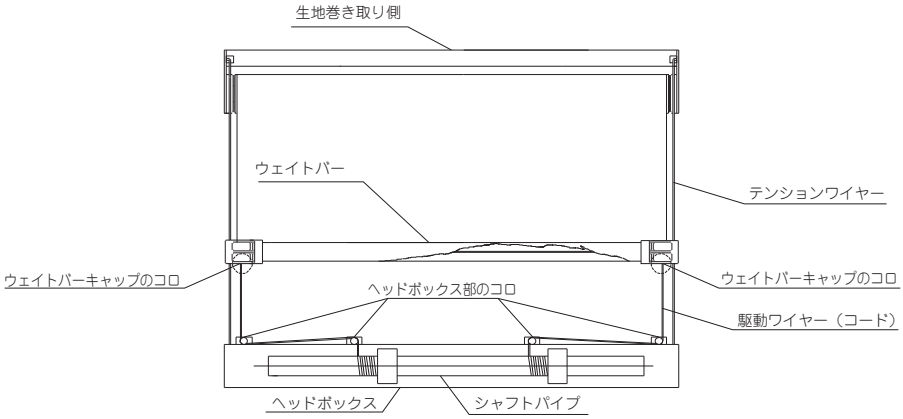
②サイドフレームをフレーム取付けビスで固定してください。



注意

落下する恐れがありますので、必ず片側のサイドフレームを固定するまでもう片側のサイドフレームを差し込まないでください。
※取付けの際は、サイドフレームを押さえながらビスで固定してください。

【参考】ワイヤーの取りまわしの構造



注意

本体取付け設置完了後、駆動ワイヤー（コード）の取りまわし状態を確認してから、リモコンによる作動確認、調整を行ってください。
※ウェイトバーキャップのコロとヘッドボックス部のコロにて引きまわされているか。
※それぞれのコロから外れていないか。

製品の取付けかた（安全のため、コンセントを抜いた状態でおこなってください）

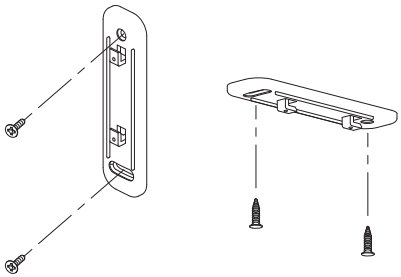
コントローラの取付け

＜コントローラの取付け場所について＞

・リモコンからの信号を受信できる位置に取付けてください。
・製品が動く範囲内には取付けないでください。
・リモコンの信号には赤外線を使用していますので、下記のような「赤外線が強くあたる場所」には取付けないでください
　①直射日光のあたる場所や、直接あたらなくとも光が反射して眩しい場所
　②白熱灯、ヒーターや暖房機器など高熱を発する機器の近く
　③蛍光灯など照明機器の近く
　④ホームセキュリティーなどのセンサー用赤外線が照射されている領域

1）ステー（取付けプレート）の取付け

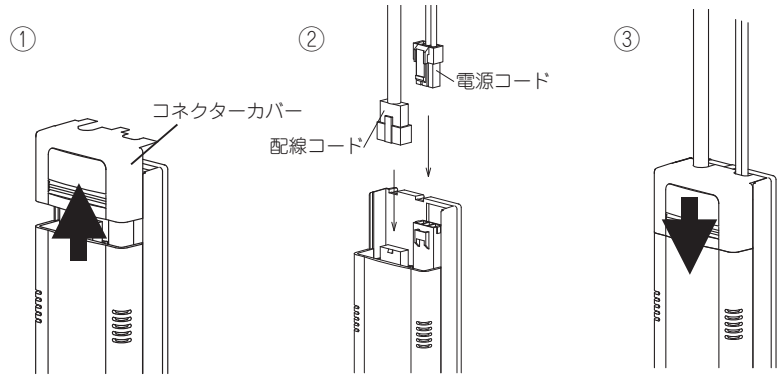
任意の位置にステー（取付けプレート）を付属のビスで壁面等に固定してください。
※付属のビスは木部用です。木部以外への取付けにはご使用にならないでください。木部以外の下地に取付けるときは、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。



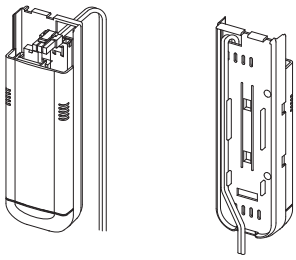
＜壁面付け＞　　＜天井付け＞

2）本体からの配線コードおよび電源コードをコントローラと接続してください。

①コネクターカバーを外してください。
②配線コード、電源コードを接続してください。
③コネクターカバーを戻してください。

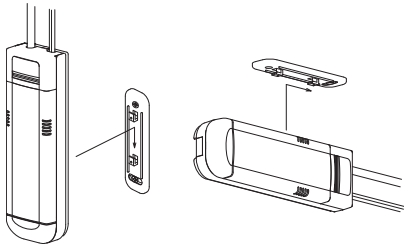


※電源コードをコントローラの下へ誘導するときは、コントローラ背面の窓よりコネクターを通し、コントローラと接続してください。



製品の取付けかた

3）コントローラをステー(取付けプレート）に固定してください。



＜壁面付け＞　　＜天井付け＞

4）付属のワイヤークランプを使って、電源コードを製品の動きを妨げないように固定してください。

5）電源プラグをコンセントに差し込んでください。

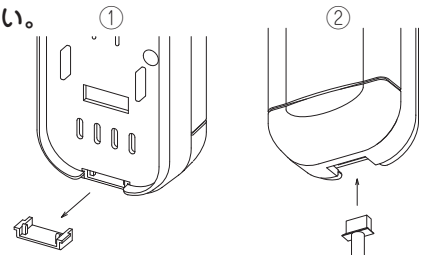
持出し受光部(オプション)の取付け

＜持出し受光部の取付け場所について＞

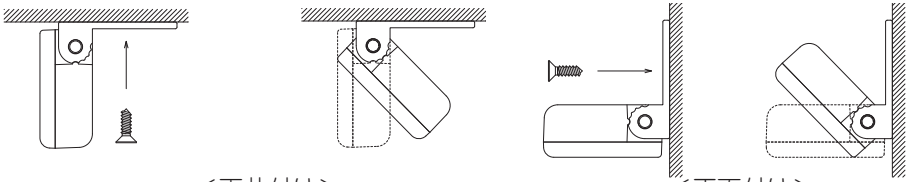
・リモコンからの信号を受信できる位置に取付けてください。
・製品が動く範囲内には取付けないでください。
・リモコンの信号には赤外線を使用していますので、下記のような「赤外線が強くあたる場所」には取付けないでください。
　①直射日光のあたる場所や、直接あたらなくとも光が反射して眩しい場所
　②白熱灯、ヒーターや暖房機器など高熱を発する機器の近く
　③蛍光灯など照明機器の近く
　④ホームセキュリティーなどのセンサー用赤外線が照射されている領域

1）持出し受光部とコントローラを接続してください。

①コントローラの受光部コネクターカバーを外してください。
②持出し受光部のコネクターをモーターコントローラに差し込んでください。



2）持出し受光部を付属のビスで壁面等に固定し、リモコンからの信号があたりやすいよう、角度を調整してください。



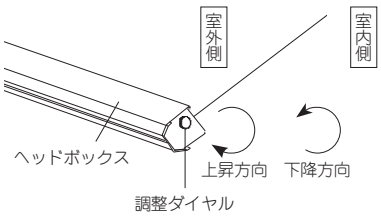
＜天井付け＞　　＜正面付け＞

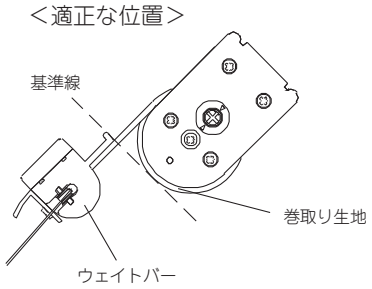
製品の取付けかた

調整方法

■上限停止位置がずれている場合

製品出荷時に、生地の上限停止位置の調整はおこなっていますが、本体設置後、必要に応じてヘッドボックス左側端部（見上げ時）の調整ダイヤルを矢印の方向へまわして調整をおこなってください。





（リミット調整例）

〈基準線より下の場合〉

1）停止位置を下方向（閉方向）に移動させます。

① 製品を半分程度まで下降させます。

② 調整ダイヤルを下降方向に2 ～ 3回程度、まわします。

③ 製品を上昇させ、停止位置を確認してください。

〈基準線より上の場合〉

1）停止位置を上方向（開方向）に移動させます。

① 製品を半分程度まで下降させます。

② 調整ダイヤルを上昇方向に１／４回程度、まわします。

③ 製品を上昇させ、停止位置を確認してください。

2）1）の手順を繰り返し、適当な位置になるように調整してください。

製品の取付けかた

■生地に巻きずれが生じた場合

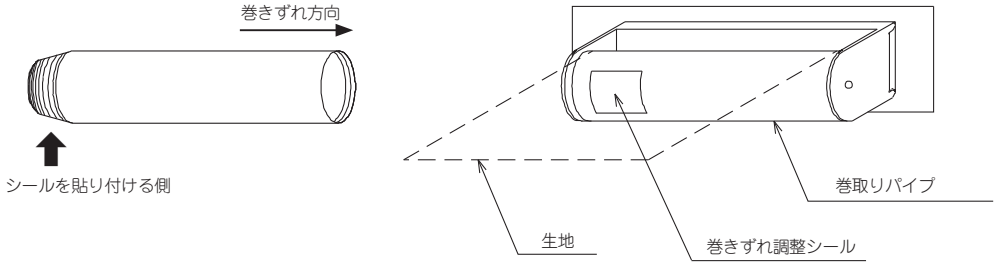
1）リモコンのCLOSEボタンを押して、生地が止まる(リミットが効く)まで巻き出してください。
安全のため、ここからはコンセントを抜いた状態でおこなってください。

2）作動停止後、手動にて巻取りパイプをさらに巻き出し方向へ回転させ、すべての生地を巻き出して巻取りパイプ自体が見える状態にしてください。

3）2）の状態において、巻取りパイプの回転を押さえながら、生地が巻きずれている方向とは逆の位置に製品購入時に付属の巻きずれ調整用シールを巻取りパイプに直接貼ってください。

■巻きずれシールの貼り付け位置
巻きずれている方向とは逆の位置のパイプに貼り付け

例）生地が右側に巻きずれる場合



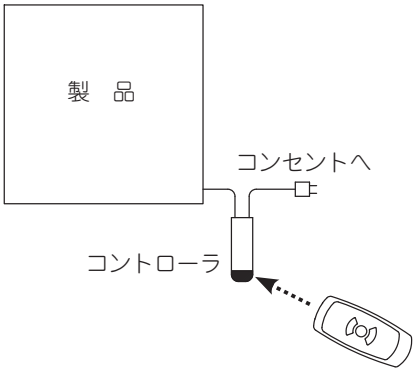
4）コンセントを差し込み、リモコン操作にて巻きずれ調整後の状態を確認してください。
1枚で調整できない場合はさらに2枚3枚と重ねて貼り付けてください。

巻きずれ調整用シールにも調整方法が記載されています。

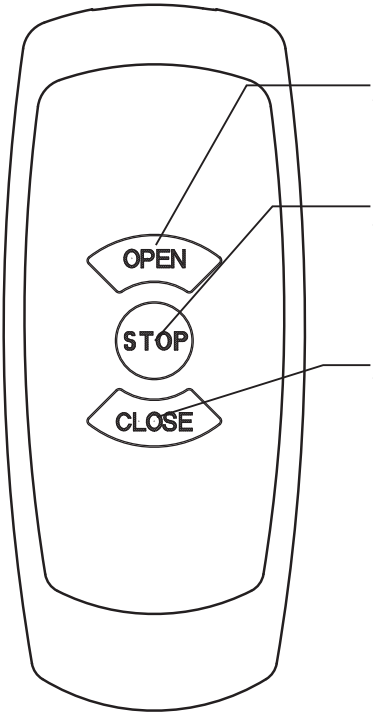
操作のしかた

※製品を操作する前に、製品の動く範囲内に動きを妨げるものがないことを必ず確認してください。

～シングルタイプ～



シングルリモコンの操作のしかた



OPENボタン
生地が上がります（上昇動作）。

STOPボタン
上昇、下降動作を止めます。

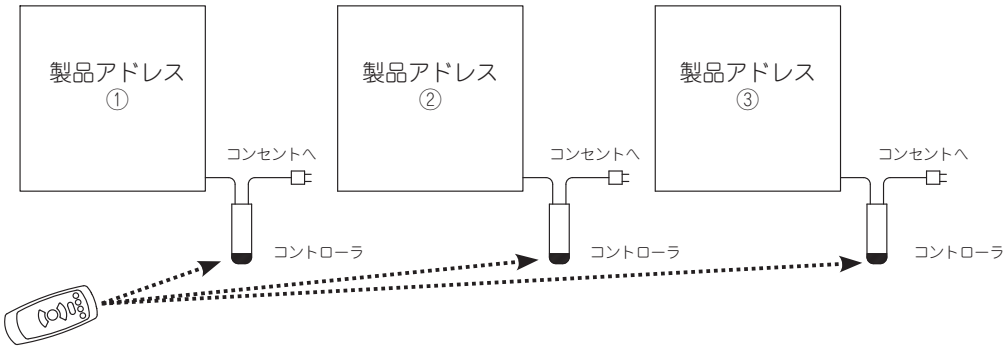
CLOSEボタン
生地が下がります（下降動作）。

注）リモコンは赤外線での送受信、送受信到達距離は約7m、角度約30度以内となります。

操作のしかた

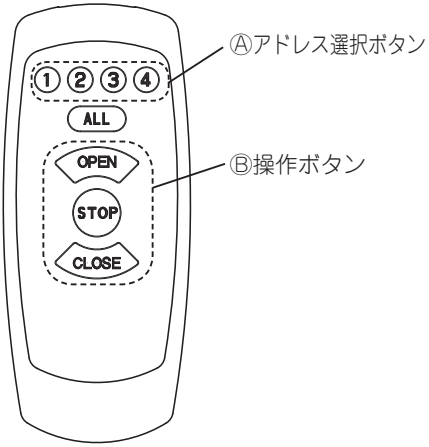
※製品を操作する前に、製品の動く範囲内に動きを妨げるものがないことを必ず確認してください。

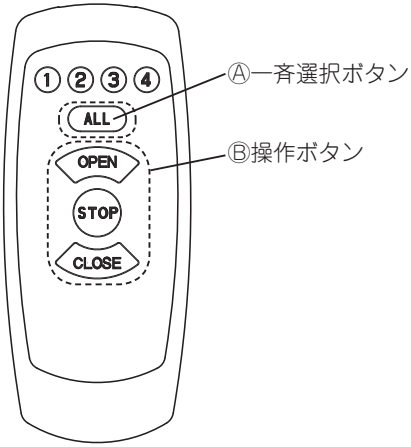
～アドレスタイプ～



アドレスリモコンの操作のしかた

個別操作 ※個別に製品を動かす操作	一斉操作 ※一斉に製品を動かす操作
・操作したいアドレス選択ボタン（Ⓐ）を押す	・一斉選択ボタン（Ⓐ）を押す
↓	↓
・操作ボタン（Ⓑ）を押す	・操作ボタン（Ⓑ）を押す





※操作ボタンでの動作は、シングルリモコンと同様となります。
STOPボタンは、個別操作、一斉操作に関係なく、押すとすべての製品が止まります。

注）リモコンは赤外線での送受信、送受信到達距離は約7m、角度約30度以内となります。一斉操作でも送受信距離および角度が範囲外の場合、製品全台数を一斉に操作できない場合があります。

お手入れのしかた

●日頃のお手入れは、羽はたきやハンドモップ等で汚れやほこりを取払ってください。
その際、折ったり曲げたりするとシワが付き痕が残りますのでご注意ください。
●油気の多いところでは、こまめに拭取ってください。
●製品(生地部以外)の汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めたものをご使用ください。また洗剤を使用した後は必ず水拭きをして、洗剤成分をきちんと拭きとってから乾かしてください。なお、住宅用中性洗剤の中には洗浄力が強いものも多いので、製品のお手入れには、塗装膜保護のため台所用洗剤をおすすめしています。

故障かな？と思ったら

製品の故障かな?と思った場合は、以下の項目をご確認ください。

こんなときは

症　状		原　因	処　置
製品が落ちた。		取付けビスが抜けた。	取付ける面の種類に応じた取付けをしてください。お買上げいただいた販売店にご相談ください。
		製品が確実に固定されていなかった。	この取扱説明書にしたがって取付けなおしてください。
生地が巻取りパイプにきれいに巻取られない。		取付け面が平行でない。	フレームが平行になるように取付け面を調整してください。
		生地が動く範囲に動きを妨げるものがある。	生地が動く範囲にある障害物等を取除いてください。
		風や空調等が生地に当たっている。	窓を閉めてください。 空調が当たらないように風向きを変えるか、止めてください。
		生地の伸縮等。	製品購入時に付属の巻きずれ調整用シールをシール記載の説明にしたがって取付けてください。
生地の端部がほつれてきた。		生地がサイドブラケット・駆動ユニットに当たっている。	巻取りパイプにきれいに巻取られるように調整した後、ほつれた生地の端部をハサミで切り取ってください。
		生地が何か障害物等に当たっている。	障害物を取除いた後、ほつれた生地の端部をハサミで切り取ってください。
製品が動かない。	電源プラグを差し込んでもコントローラ下部または持出し受光部が点滅しない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。
		コントローラが故障している。	お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
	リモコンで操作した時に、コントローラ下部または持出し受光部が点滅しない。	リモコンの電源が切れている。	リモコンの電池を交換してください。
		リモコンの電池の向き（＋・－）が逆になっている。	リモコンの電池の向きを正しくなおしてください。
		コントローラの受光部に、直射光や赤外線があたっている。	コントローラ・持出し受光部を暗い場所に移動させてください。
	上記以外の場合	アドレス設定が間違っている。	この取扱説明書にしたがって再度設定してください。
		コネクターの接触が悪い。	各コードを一度外し、再度接続してください。

仕様

使用電圧	周波数	消費電力	使用温度
AC100V±10%	50 ／ 60Hz共通	20W	−10℃～ 45℃

メンテナンスシールのみかた

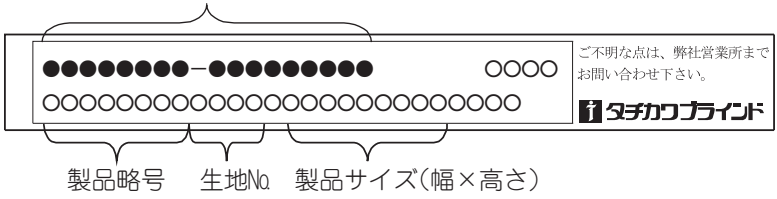
製品にはその製品の生地No.、製品サイズなどがわかるメンテナンスシールを貼付けてあります。
修理や部品交換等のお問い合わせの際、このシールに記載されている内容をお手元にご用意いただくと、スムーズに対応することができます。
お問い合わせの前に、あらかじめご確認ください。

【メンテナンスシール貼付場所】

製品正面から見てウエイトバーの右側表面

【メンテナンスシール記載内容】

お問い合わせの場合は、この●部18桁（「−」ハイフン含む）の番号をご連絡ください。



保証とアフターサービス

＜無償修理規定＞

取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、ご購入日より２年間は無償修理をさせていただきます。
※「生地部」「コード部」の無償保証期間は１年となります。
※次のような場合は保証期間内でも有料となります。
・取付け上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
・天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障及び損傷。
・特殊環境（極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等）による故障及び損傷。

修理をご依頼になる場合は、お買上げの販売店にお申しつけください。
転居などにより、お買上げいただいた販売店などが不明なときは、弊社支店にお問い合わせください。
尚、製品の仕様は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

立川ブラインド工業株式会社
本社：〒108-8334　東京都港区三田3丁目1番12号　TEL.03-5484-6100（大代表）
ホームページアドレス　http://www.blind.co.jp/

VEGETABLE OIL INK

2011.7
942728